

学位被授与者氏名	大成 裕美 (おおなり ひろみ)
論文題目	“3×3+3”を取り入れた外国語教育の実践研究 —中国語学習者を対象に—
論文審査結果の要旨	<p>論者は本研究の実践を行うために、文献の閲覧のほか、“3×3+3”を取り上げた外国語教員の研修会にも参加し、授業プランの推敲を繰り返すなど、十分な準備を行った。また、1年間にわたって授業担当者と連携した実践授業を進め、そのうえ多大なデータ（音声データ、文字データ、など）を収集・統計・分析を行うことによって、仮説を検証することができた。</p> <p>本研究の結果は、『外国語学習のめやす』の実践の成功例として意義があるだけでなく、「良いグループディスカッション」のモデルの提起は、教室での「グループディスカッション」の指導において、明確な方針を示したという点も評価できる。</p> <p>平成31年2月18日に、北九州市立大学北方キャンパス本館B205教室において、審査委員全員出席のもとで最終試験を実施して学力を確認し、論文の説明を受け、質疑応答ののちに、全員一致で当該論文が修士(中国言語文化)として十分な内容であると判定した。</p>